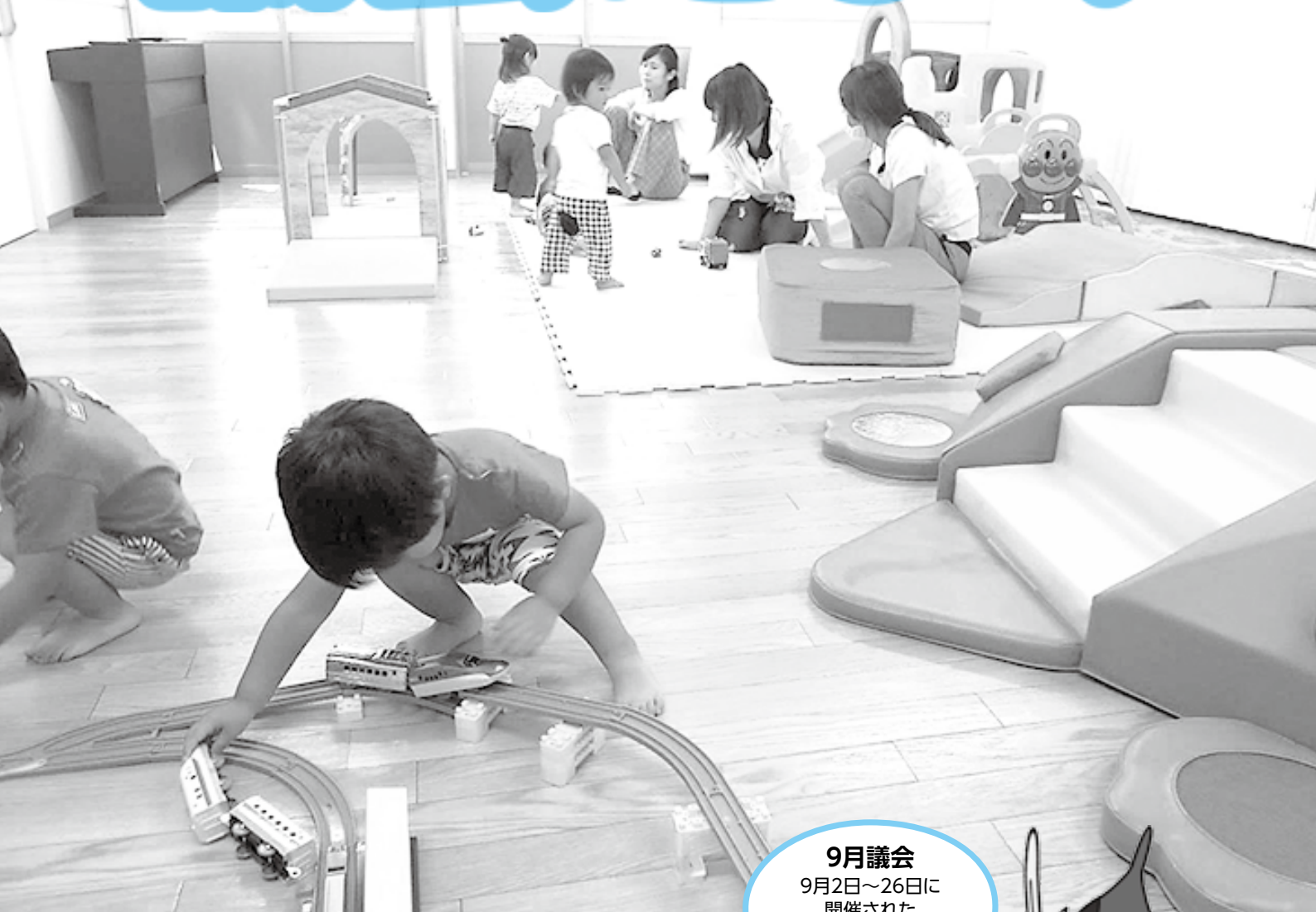


# 議会だより



▲今年5月、勤労福祉会館横に開設された「つどいのひろば ぽけっと」の中の様子

**9月議会**  
9月2日～26日に  
開催された  
定例会の結果を  
お知らせします。



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター  
がもにゃん

INDEX

トピックス9月議会・(特集)選挙投票率を考える	p.2～3
13議員が一般質問に立つ	p.4～17
議案一覧・委員会報告	p.18～21
秋まちの話題・議会を身近に	p.22～23

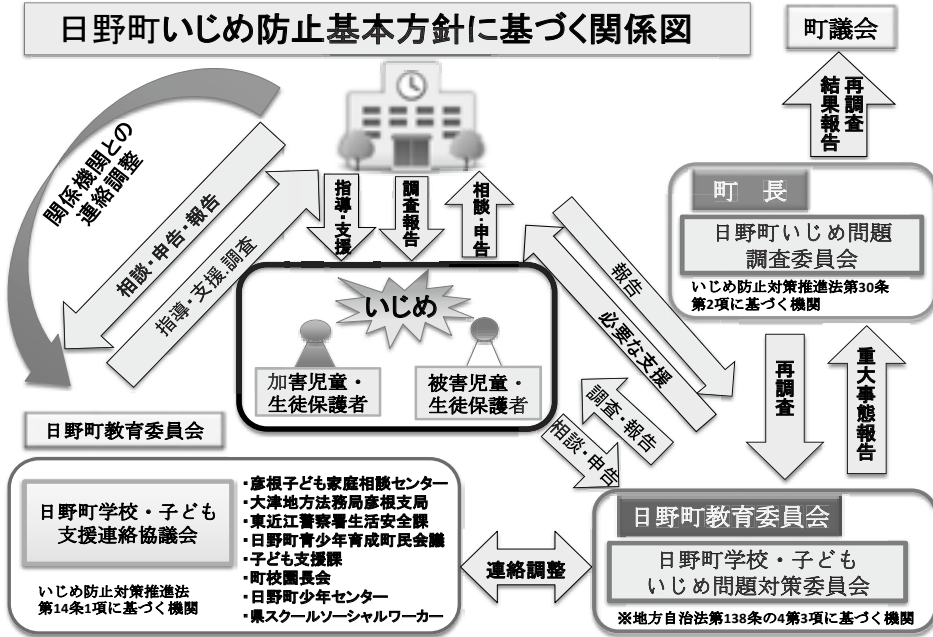
**滋賀県日野町議会**  
令和元年9月定例会号  
(令和元年11月15日発行)

# トピックス 9月議会



令和元年9月議会では、町長から提案のあった18件の議案（決算9件は別途）と7件の報告について審議を行い、全員賛成で全議案が可決されました。（18・19ページに掲載）その中のトピックスを紹介します。

## 日野町いじめ防止基本方針に基づく関係図



子どものいじめ問題で、二つの第三者委員会が設置されます

◆いじめ問題については、現行では、いじめ防止対策推進法に基づき「日野町学校・子ども支援連絡協議会」がありますが、

今回、いじめによる重大事態の調査・審議する機関として、任期2年の第三者機関「日野町学校・子どもいじめ問題対策委員会」を教育委員会部局に設置するとともに、町長部局に再調査・審

議が必要となった事案に対応するための第三者機関として「日野町いじめ問題調査委員会」（非常設・任期2年）を設置し、問題解決にあたります。

それぞれ、教育・法律・心理・福祉・学識経験者などの専門家5人以内で構成し（両組織の委員は重複しない）、速やかに対応しようとするものです。

◆女性活躍推進の観点から、国の「旧姓の通称としての使用の拡大」施策に基づき、「日野町印鑑条例」の一部が変更されます。

これまで、氏名、氏、名、住民基本台帳による通称またはそれらを組み合わせたもの以外での印鑑登録はできなかったものを、「旧氏」やそれを組み合わせたものも印鑑登録できるようになります。（令和元年11月5日施行）

◆国の制度による無償化は、3～5歳児の教育・保育費を対象

幼・保育無償化に伴い、給食材料費の取扱いが変更されます

無償化に伴い、今後入所応募が多くなると考えられるため、保育環境の整備、保育士の確保、待機児童の解消が求められることとなります。さらには来年度から国の支援が地方交付税によることで町の負担が心配されます。

としており、副食費（給食材料費）は無償化の対象ではありません。よって、次のとおり負担をお願いいたします。なお、この変更に伴い実質負担増になる家庭はありません。主食費は平成30年度から米飯給食を町の負担で提供して

## 副食費負担額

区分	月額	
幼稚園・こども園短時部	3600円	
保育園等	3～5歳	4100円
	3歳未満	現行の額 (保育料に含まれる)
私立保育所（わらべ園）	4500円	
生活保護世帯、非課税世帯、年収360万円未満世帯、第三子以降は免除		

としており、副食費（給食材料費）は無償化の対象ではありません。よって、次のとおり負担をお願いいたします。なお、この変更に伴い実質負担増になる家庭はありません。主食費は平成30年度から米飯給食を町の負担で提供して

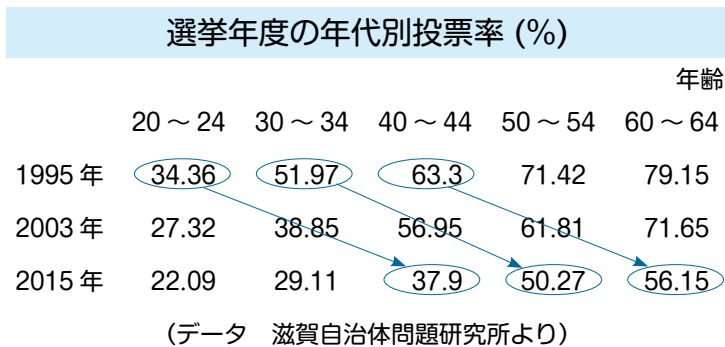
特集

# 選挙投票率を考える

第2回目

第7号の議会だよりで投票率が年々下がり続けている現状をお伝えしました。  
第2回目は何故選挙に行かなくなったのかを考えていきます。

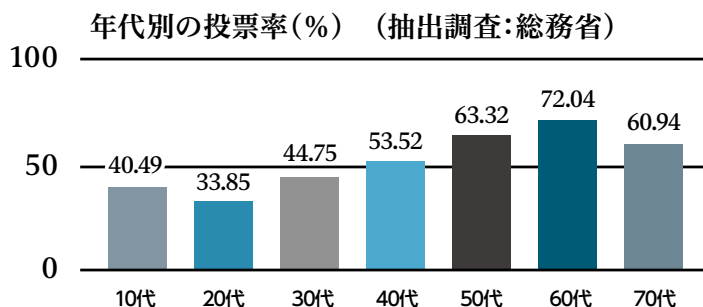
## ①選挙投票率は低下の一途をたどる 滋賀県議会議員選挙・年代別投票率の推移



どの年代においても投票率の低下が見られ、選挙に行かない人が増えています。1995年と2015年、20年後を見た年代別の投票率を見ると、その差にあまり変化が見られていないことに気付きます。つまり、若い世代に選挙に行っていないければ、年齢を重ねても選挙には行かないことがうかがえるのではないのでしょうか。

## ②公職選挙法改正(2016年6月19日施行)により18歳から選挙権が与えられた

### 翌年の2017年衆議院議員総選挙における年代別投票状況



若い方の投票率が悪いと思っていましたが、18～19歳の方は4割の方が選挙に行っていました。世界に目を向けてみると、20歳未満の方に選挙権を与えている国が、世界の9割を超えていることも分かりました。世界ではもっと早くから政治・選挙に関心を持つように始められていたこととなります。

## ③選挙に行かない理由

### 2017年衆議院議員総選挙における年代別棄権理由 (%) (抽出調査:総務省) 複数回答あり

	18～20歳代	30～40歳代	50～60歳代	70歳以上
仕事があったから	33.3	33.7	19.1	1.4
選挙に関心がなかったから	32.0	33.7	23.5	8.7
政党の政策や候補者の人物像など違いが分からなかったから	20.0	17.6	20.9	5.8
自分のように政治のことが分からない者は投票しない方がよいと思ったから	20.0	8.3	5.2	5.8
適当な候補者も政党もなかったから	18.7	33.2	29.6	13.0
選挙によって政治はよくなると思ったから	17.3	19.7	14.8	8.7
私一人が投票してもなくても同じだから	10.7	15.0	10.4	5.8

理由はさまざまですが、「自分の一票で政治は変わらない、暮らしも変わらない、だから選挙に関心がない」と思っている人が多くいるのではと考えさせられます。

## ④まとめ

18歳から選挙権が与えられましたが、政治そのものが分かりにくく、主権者としての教育も十分にできていないことが、投票率の低下に拍車をかけているのではと考えています。次号ではどのようにすれば選挙に行くようになるのかを考えていきます。



# 令和元年9月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名		質問内容	
1	山田 人志	1. 町財政を分析する 2. 次の地方創生戦略	P.5
2	高橋 源三郎	1. 工場誘致のための「山林情報登録制度」を 2. 独身男女の出会いの場の創出に専門職の配置を	P.6
3	奥平 英雄	1. 日野小学校ミーティングルームを 2. 日野小学校の樹木園は	P.7
4	後藤 勇樹	1. ふるさと納税など今後の財源確保策は？ 2. 渋滞緩和に向けた道路整備や企業誘致は？	P.8
5	西澤 正治	1. 移住者の住み続けられるまちをつくる	P.9
6	加藤 和幸	1. 台風・水害を中心とした地域防災 2. 町内企業の通勤状況と道路整備	P.10
7	山本 秀喜	1. 交付税減少に伴う予算執行上の影響は 2. 日野町の空き家対策、移住推進は 3. 大谷公園施設の長寿命化計画と管理運営は 4. 有害鳥獣駆除事業について	P.11
8	谷 成隆	1. 必佐小学校周辺整備について 2. 日野駅再生プロジェクトについて	P.12
9	中西 佳子	1. 高齢者の移動手段の確保を 2. 体育館の整備状況は	P.13
10	齋藤 光弘	1. 消費税増税対策の対応は 2. 高齢者移動支援活動への支援を	P.14
11	池元 法子	1. 集落ぐるみの獣害対策を 2. 何としても、近江鉄道の存続を	P.15
12	堀江 和博	1. 厳しい財政状況について	P.16
13	野矢 貴之	1. 暮らしやすい集落のあり方、つくり方について (情報共有・公開、子どもと公共交通)	P.17

本会議の様様をインターネットで配信しています。

(ライブ中継・録画中継)

右のQRコードを読み取ると一般質問の録画が視聴できます。



日野町議会インターネット中継

検索

# 町財政を分析する 次の地方創生戦略



山田 人志 議員

## 町財政を分析する

人口減少と公共インフラ老朽化の同時進行で、町財政には懸念材料が増える一方です。国はこれまでの自治体の会計方式では問題が見えないという理由で新たな統一基準を示し、日野町でも新基準による決算書類が作成されるようになりました。

ところが、これまで議会に提出されたことはないのです。町財政の経営分析という観点から一問一答で聞きました。

**問** 貸借対照表の純資産比率が低く、将来負担が大きいうように見えるがどうか。

**答** 将来世代の負担は大きいという見方で正しいと思う。

**問** 固定資産の割合が大きくてバランスを崩しているうえに、そのうちのインフラ資産は、7割近く償却した残高であるが、どう見ているか。

**答** 建物や道路など工作物の老朽化が進んでいる。

**問** 整理すると、まちの体力以上のインフラ資産を抱えていて、さらに、その老朽化が進んでいるので、将来世代の負担は大きくなるという評価で間違いはないか。

**答** そのような評価になると思う。

**問** 単年度で見ても、投資の2倍以上の減価償却費が計上され、老朽化のスピードがわかる。こうした状況での財政の運営方針について、町長の考えをお聞きしたい。

**答** 国の政策動向を注意深く見ながら、一方でコスト削減に努めていく。

## 次の地方創生戦略

日野町版の地方創生総合戦略は、今年が最終5年目で、次の総合戦略を考える時期にきています。

そこで、国の地方創生基本方針に沿って日野町の地方創生の方針を整理するために、一問一答で質問しました。

**問** 今の総合戦略は、上位計画の総合計画（10カ年計画）より1年早く終了するが、タイムラグをどうするのか。

**答** 今の総合戦略を1年延長し、次の総合計画と総合戦略が同時に始まるようにする。

**問** 日野町を「日本一立地企業が操業しやすいまち」にする発想をどう思うか。また、コミュニティ活動のビジネス化についてはどうか。

**答** 企業ほか関係機関とどのような取り組みができるかを議論していきたい。

**問** 「しごとをつくる」ための人材育成の考えはどうか。

**答** ひとつづくりは重要な課題であると考えている。

**問** 子育て世代の働き方に関する施策は考えているか。

**答** 新設した「ぽけっと」で女性の就業支援に取り組む。

**問** 多世代交流についてどのように考えているか。

**答** お年寄りの居場所と役割のあるコミュニティづくりを通じて進めていきたい。

**問** 国の基本方針に対する町長の捉え方を聞きたい。

**答** 東京一極集中の解消が地方創生の始まりで、地方でそれぞれ考えるのは良いことではあるが一定の節度はある。過度な事業は負担になる。

**問** 国は「地域経営」の視点を掲げているが、地域経営に関する町長の考えはどうか。

**答** 町民の皆さんとともに考えていきたい。

## 議員の「コメント」

今、地方自治体には「経営感覚」が問われています。今回の2問は、現在の町政の経営感覚を確かめる内容で質問しました。



高橋 源三郎 議員

## 工場誘致のための「山林情報登録制度」を 独身男女の出会いの場の創出に専門職の配置を

### 工場誘致のための「山林情報登録制度」を

**問** 日野町には広大な面積の山林があり、そうした山林に工場として進出している企業が町内には沢山あります。大きな企業としては中在寺・蓮花寺・野出地先に(株)ダイフクがあり、安部居地先には滋賀東リ(株)等があります。また、北脇・奥之池地先には日野第二工業団地があり、大谷にも日野第一工業団地があります。更に寺尻にも工業団地があります。しかし、それでも日野町内にはまだまだ沢山の山林があり、そうした山林所有者の中には、工場誘致のためから自分の土地を提供してもよいという人が、私自身も含め潜在的に沢山おられるのではないかと推測します。

そこで提案なのですが、現在、町が「空き家・空き地情報登録制度」を制定し推進しておられるように、山林においても、工場誘致のためなら

所有する山林を提供してもよいという「山林情報登録制度」なるものを制定されてはどうかと考えます。

企業誘致の活性化と、町内での多様な就職先確保推進のためにも、行政としてこうした取り組みを推進していただけるかどうか伺います。

**答** このよ

うな登録制度を採用して

る自治体は、都市計画区域外や非線引き区域という状況の中で、企業誘致を推進するための手法として取り組まれているが、日野町は市街化区域、市街化調整区域の区分を定めた企業誘致を鋭意進めている。



鳥居平地先に造成された工場用地

現在、工業地域においては民間による工場用地開発の取り組みが進んでおり、この状況を見ながらこの制度についても勉強していきたい。

### 独身男女の出会いの場の創出に専門職の配置を

**問** 町は少子化対策の一環として「独身男女の出会いの場の創出」の取り組みに対し補助金を出しておられると聞きますが、現在、年間どれくらいの回数の出会いの場の創出が開催され、また、それに対してどれくらいの補助金を出しておられるのか。

また、こうした「婚活推進事業」は町にとって非常に重要な課題であると思えますので、行政としても直接に取り組みが必要なのではと私は考えます。そこで、企画振興課または住民課に「少子化対策」とか、あるいは「少子化対策専門員」を配置してはどうかと考えますが、行政としての考えを伺います。

**答** 日野町では平成23年度から男女の出会いの場を創出するため、日野町婚活プロジェクト「ク

ラブキュピドン」を立ち上げ、平成25年度には年間8回程度の婚活イベントに取り組み、平成29年度からは東近江圏域2市2町に広げ、講座や出会いの場を開催している。町内では町主催や地区（公民館）主催で婚活イベントを開催し、1地区あたり上限10万円の補助金を交付した。今後も現状の業務体制で婚活事業を進めていく。



婚活イベントの様子「近江愛（おみあい）パーティ2018」

### 議員のコメント

「山林情報登録制度」により、町がそうした情報を町外や県外に発信することで、企業からの工場用地の問い合わせが各段に増えると思います。

婚活事業は「少子化対策」の出発点です。家族や親せきの「世話焼き」を嫌う人であっても、こうした形の取り組みなら積極的に参加して道が開ける人もたくさん出ると思います。



## 日野小学校ミーティングルームを 日野小学校の樹木園は



奥平 英雄 議員

### ミーティングルーム の整備ができないか

**問** 日野小学校体育館の、ミーティングルームがミーティングできるような状態ではありません。年々暑さが厳しく体育館で練習中の子どもが足の痙攣を起こし倒れることがあると聞きます。有事のときにもミーティングルームで介抱できるようクーラーの設置、また椅子や機の設置ができないか町の考えを聞きました。

**答** 日野小学校のミーティングルームは、日野小学校のトイレ改修工事の関係で一部の備品等を一時保管する場所としていました。現在は、ミーティングルーム内にボールや扇風機等をおいています。ミーティングできるスペースは確保しています。机についても体育館内の別室に保管しておりミーティングルームに設置するなどして、部屋として使い易くしていきたいと考えています。

ミーティングルームのクーラー設置について、学校施設の整備に各学校と調整・連携し緊急や優先度を考慮し取り組んでいるところであり、直ちに日野小学校体育館のミーティングルームのクーラー設置は難しいと考えている。



日野小学校体育館のミーティングルーム入口

### 安心して遊べる 樹木園に!!

**問** 日野小学校南側にある樹木園は、自然が多く遊具があり子どもたちが遊ぶには、

えます。

とても良い公園だと思います。

樹木園を見ると危険箇所や排水溝マンホールの土詰まり、ブロックの基礎等、あまりにも危険で排水溝の詰まりが酷いことから町に聞きました。

- ①排水溝の清掃はされているのか。
- ②ブロック基礎は何をされるのか。
- ③グレーチングが有る所無い所があるが設置はできないか。
- ④自転車置き場の段差はなくせないか。
- ⑤排水溝は直せないか。

**答** ①排水溝の清掃は、過去にPTAの環境整備作業時に泥揚げを実施していますが再び泥が堆積している箇所があります。

②ブロック基礎と屋根部分については、過去にあった鳥の飼育小屋を解体したときの残りです。

③グレーチングは、溝幅も小さいことから全てにグレーチングが必要か検討してまいります。



日野小学校南側の樹木園

④自転車置き場として使用しているものではありません。  
⑤樹木園の管理については、日野小学校と相談する中で環境整備や安全対策等に取り組んでいきたいと考えます。

### 議員のコメント

年々暑さが厳しくなることから、ミーティングルームの整備とクーラーの設置、昨年に続き体育館のクーラーの設置を強く要望しました。  
一日も早いグレーチングの設置、ブロック基礎の撤去、子どもたちが安全に安心して遊べる樹木園にしてください。よう要望しました。



後藤 勇樹 議員

## ふるさと納税など今後の財源確保策は？

### 渋滞緩和に向けた道路整備や企業誘致は？

**問** 人口減少などにより今後の税収減が予想される日野町。財源確保への手立ては？

**答** 税収は人口の増減だけでなく、法人税など景気にも左右されるので予想を立てにくいかもしれないが、今後10年間の歳入予想をしているなら教えてほしい。また保育園の運営、障がい者福祉サービス、介護保険などにかかる町負担金などの義務的扶助費は今後増加が予想されるが、公共施設の建て替えや道路・水道設備の整備などの投資的経費はどれくらい必要になるのか。周辺にはふるさと納税制度を積極的に活用して税収確保に努めている自治体も多いが、日野町ではこれまで何度要望しても前向きに取り組んでももらえていない。住民からの要望も多いことから、何とか積極的に取り組んでもらえないものか。

順位	市町名	納税額	納税件数
1位	近江八幡市	17億6543万7939円	2万9476件
2位	高島市	4億5349万5000円	1万660件
3位	東近江市	3億4603万5008円	7094件
4位	草津市	1億2636万5338円	3616件
5位	豊郷町	1億368万3501円	5731件
15位	日野町	3745万6330円	399件

近江牛や地場産業のオーダー靴などが人気の近江八幡市と日野町では、ふるさと納税額に約47倍の差が。

**答** (総務課長) 今後の税収の推移について具体的な数値の試算などはしていないが、減少していくだろうと思われる。公共施設の老朽化については長寿命化工事などで対応していきたい。(企画振興課長) ふるさと納税への積極的な取り組みを求める意見は届いているが、住民税は自らが居住する自治体に収めるのが基本。また返礼品提供者への利益貢献となってしまうことや食品等の扱いへの検討もできていないので、町としてはこれまで通りの姿勢でござむ。

**問** 工業団地周辺の大渋滞は通勤者も住民も悩みの種。町内への企業進出誘致の進捗は？

**答** 8月23日の日野町内立地主要企業・事業所代表者と日野町長との懇談会では、企業や事業者からどのような要望があったのか。通勤時間帯には安部居や野出などで毎日大渋滞が発生している。周辺住民や企業から迂回路設置や道路幅員拡張などの要望が何年も続いているが、町の対応予定は。また新たに造成された鳥居平工業団地の企業誘致進捗状況はどうなっているのか。

**答** (商工観光課長・建設計画課長) 企業側からは主に道路整備についての要望が多かった。現在の予算では、今回の要望のうち実現できそうなものは約30%程度。引き続き検討していきたい。安部居、野出の渋滞については、実際に自動車で通勤

時間帯に走行するなどして確認したが、一日中渋滞しているわけではないので対応が難しい。鳥居平工業団地は現在1社が進出されており、5社が商談中である。今後も引き続き努力していきたい。



上のQRコードを読み取ると一般質問の録画が視聴できます。

#### 議員のコメント

高齢者人口が増え、生産年齢人口の減少が進む中、行き届いた行政サービスの維持には確かな財源確保策が必要。ふるさと納税を始め、あらゆる手立てを考えていくべきである。また渋滞時の事故も年3〜4件起きている。町も県や国と連携して積極的な道路整備に乗り出してほしい。



## 移住者の住み続けられるまちをつくる

～移住者の身になって考えてみる～



西澤 正治 議員

### 移住者の住み続けられるまちをつくる

**問** 各地区行政懇談会において、企画振興課より「日野町くらし安心ひとづくり総合戦略」から少子高齢化時代の地域づくりについて説明がありました。同総合戦略には「空き家を活用した移住定住の支援」などの施策が掲げてあります。その件について伺います。

数年前より解体も計画されていた大きな空き家があり、この物件に対しては町でも古民家利用や移住者の募集に努力していただきました。

大きな民家で傷みもひどく、下見客は多数あったものの入居するには多額の費用がかかり、断念される方ばかりでしたが、本年4月に移住される方が決まり、土地、建物を購入され、定住されることになりました。

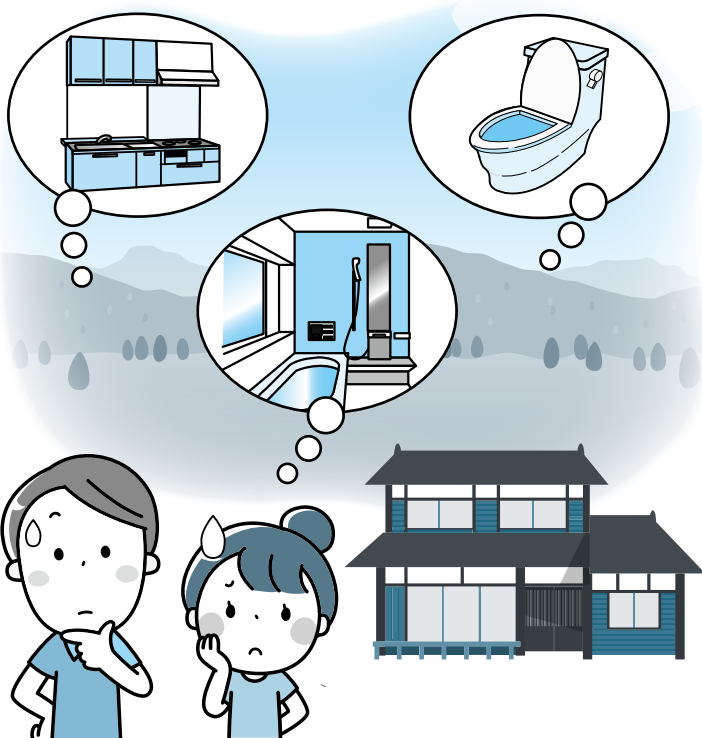
しかし、住むとなれば雨漏

りの補修や、台所、風呂、トイレの改修など多額の費用がかかるため、限度額10万円の住宅リフォーム事業補助金では、とても足りません。

移住者が安心して定住できるように、町の施策として、補助額の増額が出来ないものか伺います。

**答** これまでに、空き家、空き地情報登録制度を利用し、57組の方が日野町に移住されています。移住された方からは、町並みやひなまつり紀行などの取り組みを見て決めたとか、近所の人や集落内のみなさんとの温かなつながりがあったから決めたなどというご意見を伺っています。

町では移住を希望される方が日野町でどのような生活をされたいかなど、移住される方の思いを受け止める対応や、地域に出向く機会をとらえ、空き家バンクへの登録の呼びかけを行うなど、移住の促進を総合的にサポートできるように、多方面から研究をしていきます。



### 議員のコメント

今議会の一般質問は、個人的な質問になりましたが、私自身の事と思い、町の施策を問うてみました。

行政の総合戦略では、美辞麗句がならべてあるようで定住される方には、心寒い町政を思われるのではないかと、他市町では高度な迎え入れる戦略があると伺っています。

移住者が安心して住み続けられる町づくりに今後も努力していきます。



加藤 和幸 議員

## 台風・水害を中心とした地域防災

### 町内企業の通勤状況と道路整備

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5 高	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	災害発生情報 ※2 ※2 災害が実際に発生していることを判断した場合に、可能な範囲で発令（市町村が発令）
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急） ※3 ※3 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令（市町村が発令）
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（高齢者の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始（市町村が発令）
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等（気象庁が発令）
警戒レベル1 低	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報（気象庁が発令）

〔答〕 ①近年は台風のほかに線状降水帯による記録的短時間大雨情報などもあり、災害はいつでもどこで発生してもおかしくないと認識している。

「日野町は自然災害が少ない」、正しいのか？

〔問〕 住民意識調査で、日野町の良いところの項目では、「自然災害が少ない」が89%。

①各地で台風被害などが報じられている。町当局の考えは？

②平成25年の災害対策基本法改正以来、今日まで、当町で発令された避難準備情報、避難勧告、避難指示の件数および実際に避難された方の人数を伺う。

③国のガイドラインによる警

戒レベルと、当町の地域防災計画にいう土砂災害降雨危険レベルとの整合性は。

④地域防災計画では、必ず指定の避難所へ行くことを前提にしているのか。

⑤「日野町水防計画」が各字の区長などに配布されている。資料に危険箇所の一覧があるが、具体的にどう危険なのか、緊急度は、どう注意すべきかなどの説明がない。資料の活用方法を伺う。

〔問〕 高度成長期に「通勤」と言えば、「町外へ」が定番であったが、今は「町外から日野へ」という通勤車が多い。

①（株）ダイフク通勤車両などによる主要地方道45号（石

〔答〕 ①近年は台風のほかに線状降水帯による記録的短時間大雨情報などもあり、災害はいつでもどこで発生してもおかしくないと認識している。

②平成25年以降で、避難準備・高齢者等避難開始を13回、避難勧告を5回発令、避難者数は延べ81人。避難指示（緊急）の発令はない。

③ガイドラインは情報の意味を直感的に理解し、住民が取るべき行動を定めたもので、土砂災害発生危険度とは必ずしも一致しない。

④2階など家の中にとどまった方が良い場合もある。適切に対応したい。

⑤「水防計画」は、地域における情報を事前に知っておくことで迅速な対処や被害の軽減を目的としている。有効に活用いただけるよう努めたい。

議員のコメント

通告書提出後に、台風15号が首都圏に襲来。大規模停電が起こった。停電対策や「水防計画」の実質的な活用方法など、引き続き質していきたい。

〔問〕 通勤渋滞の解消と、外国人労働者の自転車通勤

〔答〕 ①行政懇や企業と町長の懇談会でも要望があり、（株）ダイフクを含め、道路管理者及び公安委員会と協議していきたい。

②歩道整備については継続して国・県に要望しているが難しい。歩行者や自転車の安全確保に向けて今後も要望していきたい。

〔問〕 高度成長期に「通勤」と言えば、「町外へ」が定番であったが、今は「町外から日野へ」という通勤車が多い。

①（株）ダイフク通勤車両などによる主要地方道45号（石

〔答〕 ①行政懇や企業と町長の懇談会でも要望があり、（株）ダイフクを含め、道路管理者及び公安委員会と協議していきたい。

②歩道整備については継続して国・県に要望しているが難しい。歩行者や自転車の安全確保に向けて今後も要望していきたい。

②平成25年以降で、避難準備・高齢者等避難開始を13回、避難勧告を5回発令、避難者数は延べ81人。避難指示（緊急）の発令はない。

③ガイドラインは情報の意味を直感的に理解し、住民が取るべき行動を定めたもので、土砂災害発生危険度とは必ずしも一致しない。

④2階など家の中にとどまった方が良い場合もある。適切に対応したい。

⑤「水防計画」は、地域における情報を事前に知っておくことで迅速な対処や被害の軽減を目的としている。有効に活用いただけるよう努めたい。

この問題は、外国人労働者自身の交通安全のみならず、対向する中学生や地域住民、走行する車との危険等、多くの問題をはらんでいる。対策を。

原八日市線）の渋滞緩和策は。

②第二工業団地の企業へ自転車通勤される主として外国人労働者の方がおられる。歩道や押しボタン信号の設置を。

交付税減少に伴う予算執行上の影響は

日野町の空き家対策、移住推進は

大谷公園施設の長寿命化計画と管理運営は

有害鳥獣駆除事業について



山本 秀喜 議員

交付税減少に伴う予算執行上の影響は

**問** 国から配分される交付税は、自治体がまかなえない財源を補うもので、地方税収が増えると翌年度の交付税が減る仕組みになっています。日野町では、前年度製造業の好調により税収が増加したことから、今年度は昨年度比24・1%減、11億800万円の税収となりました。

大きな減少率であり、予算執行上の影響と経済状況の不透明さが増す中での次年度の見込みを問いました。

**答** 本年度予算の編成段階において、普通交付税総額が減額となると見込まれたことから、町税の伸びを見込みつつ、歳出に係る経費縮減を図りながら進めました。不足する財源については、財政調整基金で補い、一般財源総額を維持する予算編成をしております。

次年度の予算編成は、地方財政

計画の仮試算である総務省が示す地方財政の伸びは2・2%とされています。これら国の情勢や町税収入に注視しつつ、予算編成に取り組んでいきたいと考えています。

日野町の空き家対策、移住推進は

状況 登録情報 地籍情報 空き家・空き地

利用希望者数	67世帯
空き家物件	14件
空き地物件	25件

要する費用補助)を立ち上げ、いち早く推し進めなければならぬと町の見解を問いました。

**答** 右表の通り、希望者数より物件の少ない状況が続いています。今まで日野町の風土や購入価格の手ごころ感が決め手になった経緯から、移住される方の思

**問** 空き家・空き地が増えてきており、積極的に移住者を受け入れられている市町を例に上げ、空き家のリフォームを推進する事業(引き渡せる家屋にするまでにかかる物件の改修や不要物の撤去、仏壇の処分などに

大谷公園施設の長寿命化計画と管理運営は

**問** 令和6年度に開催される第79回国民スポーツ大会で、日野町は軟式野球の会場になることによる改良工事や、B&G海洋センターのプール事業休止に伴う施設のあり方と公園管理運営事業の見直しについて、町の考えを伺いました。



見直しが必要なプール施設

いを受け止めるような対応や地域に向く機会をとらえ、総合的にサポートしていく考えです。

**答** 野球場の施設改良は、軟式野球の基準を確保するため、球場周囲のフェンスをラバーフェンスにする、側溝蓋をラバー付にする、両翼を91m確保する、本部席を拡張する等予定しています。プール施設は上屋の鉄骨の劣化や利用者の減少により休

有害鳥獣駆除事業について

**問** 獣害被害は今もなお後を絶たない状況で、営農意欲の減退につながる深刻な事態であることを訴え、現状の取り組みと新たな施策がないものか、町の考えを聞きました。

**答** 現在、猟友会による銃器捕獲、集落ぐるみによる箱罠捕獲に取り組んでいただいています。狩猟免許取得の予備講習会費用の全額補助、箱罠2基の無償貸与をしております。免許更新時には猟友会の委託を受けて申請代行を行うなど、負担軽減になるよう人的な支援をしています。

議員のコメント

日野町が抱える大きな課題(財政・空き家・インフラ・獣害)を改善していくために、住民の皆さんの声を聞き、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。





谷 成隆 議員

# 必佐小学校周辺整備について 日野駅再生プロジェクトについて

## 必佐小学校周辺整備について

**問** 平成29年9月定例会でこの問題についてお尋ねし今回で二度目になります。小学校グラウンド南側、内池西の照光寺裏の農地について、現在所有者の高齢化に伴い約2ヘクタールの農地が荒廃状況にあります。この場所は市街化調整区域でもあり、隣接には出雲の里団地、近隣には日野駅、郵便局、駐在所、開業医もあり環境的には住宅団地としての活用には最適地と考えます。そこでお伺いします。

① 荒れた手の付けられない農地の活用について。

② この場所において地権者全員の同意をもって町に住宅団地の要請があれば、どの様に取り扱いますか。

③ 行政懇談会の全体要望で小学校正門前の水路及び道路について。



照光寺裏の農地

**答** ① いわゆる耕作放棄地については、農地が農地として利用されるように地域の中で話し合っていたりするように進めていきます。農業委員会でもご相談に応じています。

② 農地法や都市計画法上の観点から審査を行います。

③ 行政懇談会で全体要望に挙げられた小学校前の水路及び道路でございますが、小学校前の水路については、児童等の転落防止のため、防護柵（延長約200m）の設置を予定しています。

## 日野駅再生プロジェクトについて

**問** 日野駅再生プロジェクトは広く皆様から応援寄附により三カ年計画も順調に進み、一般社団法人「こうげん舎」駅力フェ「なないろ」運営も順調に進んでおりますが、近江鉄道（株）さんの動きが心配です、日野町としてどうすべきか考えていく必要があります。そうです。

① 小さな鉄道ミュージアムの施設整備の進行状況をお伺いします。

② 来年度、県道内池バイパスが開通します。駅舎西側の計画の必要性について

③ 近江鉄道（株）の鉄道事業の動向について。

**答** ① 日野駅再生プロジェクトの最終年度は、旧日野駅観光案内所を改修し鉄道資料の展示スペースとして整備し、施設整備に係る設計をまとめ、11月から翌年2月末までの工期で整備を

完了し年度内のプレオープンを目指して進めています。

② この区域は農業振興地域の農用地区域となっています。今後、町の総合計画や都市計画マスタープラン等を策定していく中で計画の必要性を検討する必要がありますと考えています。

③ 近江鉄道は「単独で鉄道事業を維持するのが将来的に困難になる」と発表され、その後、沿線自治体首長会議において地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会を設置し、存続形態や自治体の財政負担について議論を進めていくことを合意したところです。

**議員コメント**  
会津まつり「会津藩公行列」に参加し感動して参りました。町においても、イベントや催しを企画される時には相互の内容の共有化を図り、町の玄関口である日野駅から綿向山まで繋げるべらうの企画化にしたいものです。

## 高齢者の移動手段の確保を 体育館の整備状況は



中西佳子 議員

### 高齢者の移動手段の確保を

**問** 地方では、高齢化や人口減少が進み、鉄道やバスなどの公共交通手段の維持が難しくなってきた。本町においても公共交通の利便性は大きな課題であります。運転免許証の自主返納を考えてもマイカーなしの生活は困難な地域も多くあるように思いますが。高齢者の安全運転支援対策と地域における移動手段確保を願う何点か伺う。

① 町の高齢運転者による交通事故件数状況、免許証の自主返納状況は。

② 日々の買い物や通院など困らないよう、コミュニティバスや乗合タクシーなど、今後の対策は。

③ 高齢ドライバーの安全対策として、ペダル踏み間違い時の急発進防止装置を設置する費用補助などの考えは。

**答** ① 65歳以上の高齢運転者事故は平成28年中13件、29年中11件、30年中10件、自主返納は平成29年中45人、30年中50人。

② 日野町営バスについては、児童の通学と高齢者等の生活の利便性の向上を目的として、各路線の利用形態を考慮しながら、5台のバスで6路線を運行している。今年4月からは低床バスを2台導入するなど利用しやすいバス運行に努めている。デマンドタクシーも運行している。今後も利便性の高い安全な運行に努めたい。

③ 高齢運転者の安全対策として急発進防止装置の設置補助については、装置のメーカーにより性能に差があるなど課題もあり、国、県における施策等の動向を注視しながら研究していく。



新しく導入された低床バス

### 体育館の整備状況は

**問** 今年も猛暑の夏でした。最近では、普通教室に限らず、体育館にエアコンを設置する自治体もあります。学校の体育館は授業やクラブ活動、行事等使われている。夜間や休日も子どもたちや大人のスポーツの場所として、そして地域行事にも活用されている。災害時には避難所に指定されている。子どもの健康管理や環境整備のため何点か伺う。

① 町の小・中学校の体育館の使用状況は。

② 学校体育施設開放事業の状況は。

③ 地域行事等や団体等の利用状況は。

④ 現在の寒さ対策、暑さ対策は。

⑤ 子どもの健康管理、又、避難所の環境整備として、エアコン設置の考えは。

用している。

② 町内全体で年間のべ1087日、2万1373人が放課後や土・日、祝日に利用されている。

③ 敬老会、福祉関係、学童や地元企業など地域行事や団体が利用。

④ 寒さ対策は業務用ヒーター等で防寒、又、服装等で調節。暑さ対策は、換気や業務用扇風機等による送風、時間や内容の工夫をしている。

⑤ 外気温が30度を超える5月から9月まで、特に児童の熱中症対策には万全を期して取り組めます。体育館へ冷暖房設備を設置することは難しい。

### 議員のコメント

スポーツ施設の整備は重要。検討いただきたい。高齢運転者の急発進防止装置設置補助は国・県の施策を待つのではなく研究を早急に、進めてほしい。

**答** ① 体育授業やクラブ活動、中学校では、放課後や土・日に部活で利用。行事等多目的に活



齋藤 光弘 議員

## 消費税増税対策の対応は 高齢者移動支援活動への支援を

### 消費税増税対策の対応はどうなるの？

消費税増税による影響や増税対策はどのようになるのか、明確にされず、説明もされていないことから住民のみならず不安を感じておられるのではないかと思いい問一答で質問しました。

**問** 社会保障の充実はどのように改善されるのか。

**答** 社会保険の充実はどの

**問** 町内店舗のキャッシュレス決済対応はされているのか。

**答** 町内では30店舗となつています。端末機の整備費や決済事業者への手数料などの費用が発生することや9ヶ月と期間限定であることから、登録されない店舗も多くあるのではないかと

**問** 商工会に事務の取り扱いを委託しており、現在82店舗が応募され、準備されています。

**問** 「マイナポイント」とは。

**答** マイナンバーカードを取得された方に対し、スマートフォン決済業者と連携した全国共通のポイントを付加する制度です。

**問** 「すまい給付金」「次世代住宅ポイント制度」とは。

**答** 住宅を取得された方に対して、最大50万円給付される制度です。住宅の新築やリフォームをされた方に対して、様々な商品と交換できるポイントが発行される制度です。

**問** 国民への税負担を求める消費税引き上げをどう思うか。

**答** 税制については、社会を構成するものが公平に能力に応じて税負担を行う応能負担によることが適切と考えています。

### 高齢者移動支援活動への支援を

**問** 東桜谷地区で住民主導の高齢者移動支援サービス「ちよいのりおたすけカゴヤ」を7月にスタートされました。

これこそが地域の課題解決に向けて実践された活気的な活動と言えます。こうした「移動支援サービス」の活動がどんどん他の地域にも広がることをいいなあとという思いから質問をしました。

- ① 移動支援活動の活動状況は。  
② 活動の課題、住民の感想は。  
③ 活動拡大に向けての反応は。

**答** ① 登録利用者は9名で、運転ボランティアは11名です。2ヶ月間では、鳥居平で4件、奥師で4件の実績です。  
② 買い物物の場合、予約の日程が組みにくいこと、病院の待ち時間が読みにくく、迎えに行く時間が読めないこと、運転ボランティアの割り振りが難しいと伺っています。利用者の方から

は好評であります。  
③ 東桜谷地区以外からも「取り組みの検討を始めてみたいが」というようなご相談をいただいています。自分達の地域でも移動支援に取り組みたいとのご相談がありました場合は、東桜谷地区の取組内容などや県内外の情報提供を行い、住民の皆さんと共にそれぞれの地域にあった仕組みを検討してまいります。



東桜谷地区の移動支援事業

### 議員のコメント

消費税増税対策には、不公平格差を伴う課題のある財政措置と考えます。高所得者への「累進課税」や法人税率の適正課税による税収を社会保障に充当すべきと考えます。地域の支え合い活動の移動支援が町全体に広がることを期待しています。



## 集落ぐるみの獣害対策を

### 何としても、近江鉄道の存続を



池元 法子 議員

#### 集落ぐるみの獣害対策を

**問** 日野町においても、野生動物による農林業被害の拡大が問題となっている中、獣害対策における国や都道府県、市町村の役割は徐々に変化していると言われてます。

これまで都道府県が主張してきた獣害対策は、特措法の制定改正により、被害発生地により近い市町村において積極的に推進できるようになりました。

そこで、次の点について伺います。

- ① 獣害対策と野生動物保護のバランスについて。
- ② 主な獣害対策の現状と課題について。
- ③ 対策の成果と効果について。

**答** ① 野生鳥獣にあつては、地域的に個体数の減少が危惧され、保護を図る必要がある鳥獣（第一種特定鳥獣）と、生態系や農林水産業に被害を及ぼし、個体数が著しく増加している鳥

獣（第二種特定鳥獣）がある。滋賀県においては、ツキノワグマに保護計画、シカ・イノシシ・サル・カワウに管理計画が定められている。

鳥獣害対策と野生動物保護のバランスについては、その法令に基づく県や市町の計画に沿って計画的に捕獲と獣害防止を進めて、鳥獣の適切な保護と管理が図れるように取り組んでいる。

② 取り組みの現状は、シカ・イノシシには侵入防護柵の設置、銃器・箱罠捕獲を進めている。また、餌場をつくらないなど集落ぐるみの獣害対策の啓発・誘導等集落の主體的な対策を後押ししている。サルに対しては適正頭数まで減らす「個体数調整」を実施してきた。

「獣害に強い集落づくり」が課題。

③ 獣害対策の成果は、昨年度はシカ300頭、イノシシ273頭、サル100頭を捕獲。侵入防止柵は総延長約260km超え狩猟免許を取得しての「箱罠捕獲事業」に33組織、「日野町集

落ぐるみ獣害対策事業」には10集落が取り組んでいる。

これらにより、シカ・イノシシの農地への接近を妨げてはいるが、被害が目に見えて減っていない。

#### 何としても、近江鉄道の存続を

**問** この質問は私にとって3度目になります。今までの町の姿勢は「町の玄関口として重要な公共交通機関であり、通勤・通学になくはならない状況であり、存続の方向での議論」とのことですが、近江鉄道の場合、路線の距離が約60km、沿線自治体が10もあり、自治体により温度差が見られます。今後、自治体をまとめていく役割は滋賀県にあると思われま

す。町としての問題解決の方向性を伺います。

**答** 町として存続が前提であることは、変わっていない。近江鉄道は滋賀県全体の課題であ



日野駅再生プロジェクトにて

り、県知事もイニシアチブを持ってこれからの法定協議会で議論を進めていくことを明言された。県全体の問題として存続させるうえで、市町の議員はもちろん、県会議員、国会議員一丸となって取り組むことが重要であると考えます。

#### 議員のコメント

1. 獣害対策は、人間と野生動物の棲み分けを図ることが大切ではないでしょうか。農家でない集落住民の協力も必要です。
2. 鉄道存続は、交通権・移動権という現在の基本的人権であります。町づくりの観点での町民間の議論に。



堀江 和博 議員

## 厳しい財政状況について

日野町を取り巻く財政状況は厳しくなっています  
現状と将来的な状況についてうかがいます

現在の財政状況はどうか。

〔答〕 町税の一定の伸びを見込めたものの、経済状況などに不安定要素があり継続的な伸びは見込みにくい。歳出は扶助費・公債費など義務的経費が増加しており、財政の硬直化が進んでいる。

将来負担比率はどうか。

〔答〕 平成三十年年度決算における将来負担比率は66・8%となり、昨年度より1.1%上昇した。

●将来負担比率は標準財政規模に対し将来負担する実質的な負債の比率。比率が高い場合、将来負担額が大きいということとを意味する。

将来負担比率 ワースト順位

1位	栗東市	161.0%
2位	野洲市	104.1%
3位	甲賀市	74.0%
4位	日野町	65.7%
5位	湖南市	62.9%

県内19市町・平成29年度決算

実質単年度収支はどうか。

〔答〕 平成三十年年度決算における実質単年度収支は、1億187万4千円の黒字である。

●実質単年度収支は黒字・赤字要素を考慮し、単年度の実質的な収支額を示したもので、表面上は黒字でも、この指標で赤字が続く場合、実質的には財政が悪化していると言える。



資産老朽化比率はどうか。

〔答〕 平成二九年年度決算における資産老朽化比率は67・4%で、前年度から1.5ポイント増となった。

●資産老朽化比率は固定資産のうち償却資産取得価額等に対する減価償却累計額の割合。比率が高い場合、公共施設やインフラなどの資産の老朽化が進んでいることを意味する。

財政計画はあるのか。

〔答〕 財政の見通しを立てたものを作成しているが、あくまで部内資料であり、公表できる形の財政計画はない。

新しい歳入確保はどうか。

〔答〕 空き家・空き地情報登録制度等による移住定住促進、企業誘致に向けて町内工業団地の民間所有の未活用用地について情報発信に努めている。

### 議員のコメント

●財政状況について

将来負担の増加とともに実質赤字が発生、資産の老朽化も加速しています。今後も厳しい財政状況が予想されるため、無駄のない効率的な行政運営を強く求めます。

●財政計画について

町民に公表できる財政計画が存在していないことの理解に苦しみます。財政的な現状と将来シミュレーションを行い、公表するべきです。

●歳入確保策について

厳しい財政ゆえ、新たな歳入確保を積極的に行うべきです。「ふるさと納税制度」の積極的な活用など、取り組むべき歳入確保策があります。



野矢 貴之 議員

「暮らしやすい集落のあり方、つくり方について」  
(情報共有・公開、子どもと公共交通)

※わかりやすいように、できるだけ簡単な表現に編集しています。

この町が目指す  
ところを知りたい

市民活動が盛んであることは非常に結構なことだが、行政や住民がバラバラに活動しているのは、限られた資源(予算や人的な労力)が分散してしまつて、最大の効果を期待することができない。明るい未来に向けて足並みをそろえていくための、明確なビジョンは示されていない。

**問** 日野町はコンパクトシティを目指して特定の場所に住民を集めようとしているのか? 町にとって中山間部の集落はどのような存在か?

**答** (総務政策主監)

結果的にそう映るかもしれないが、コンパクトシティを目指しているのではない。中山間部集落は、景観維持、防災、歴史文化においても、大いに寄与している存在だ。なにより、すべての集落のコミュニティは非常に大切で、維持継承していくべきものだ。

地域の課題を  
共有・公開したい

地域では役仕事が増えるばかりだ。制度自体を改善することで地域への負担を減らすことができるのではないか。例えば『通学路の危険箇所情報共有制度』をつくれれば

- ・引き継ぎ項目が減る
- ・毎年同じような要望の重複がなくなる
- ・危険箇所や進捗が一目瞭然など

課題の見える化によって、住民福祉の向上を図りたい。

**問** 「要望」という情報管理はどうしているのか? 複数から重複して聞くことはないのか?

**答** (学校教育課)

書類としてはつながっていくので、情報管理者(各関係機関や区長など)には情報共有ができています。計画上、未達成の部分を再度要望いただくことはある。

義務教育の通学費負担  
を無くしたい

町営バスは有料であるが、2点特例がある。

- ①一定距離以上通学する子どもへの一部補助
- ②高齢者(70歳以上) 又は障がい者は全額無料

この2点の特例は双方素晴らしい制度だが、現状は住む場所によって、義務教育であっても通学するための経済的負担が必要になっている。

**問** 義務教育の義務とは、教育を受ける環境を整える義務のはずだ。現在の日野町は、子どもは教育を受けるための通学が有料で、高齢者は生きがいのための交通費が無料である。バランスとしていかがなものか?

**答** (総務政策主監)

過去からの経緯を踏まえて広がってきた制度であるが、当然検討されるべき問題だ。

野矢貴之のココがポイント!

◆地域について

人口減少著しい郊外集落は、今まで通りでは明るい未来が見えてこない。今までもおこなっていない施策をする必要がある。行政は船頭であるので、過去や経緯よりも、未来の計画を語ってほしい。

◆情報共有・公開について

地域の課題を情報公開することによるメリットはとても多い。今回提案の『通学路の危険箇所情報共有制度』をはじめ、『住民要望公開制度』を実現していきたい。

◆町営バスについて

町ホームページにて福祉乗車証は掲載されているが、子ども補助についてはどこにも情報がない。取り残された制度なのではないか。未来志向で見直していきたい。





町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	堀江	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
<b>補正予算</b>															
一般会計（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>決算の認定</b>															
平成30年度日野町一般会計歳入歳出決算	<p style="text-align: center;"><b>* 決算特別委員会</b>で閉会中に<b>継続審査</b></p> <p>平成30年度一般会計他8会計の決算審査を行うため、13名の委員で構成する決算特別委員会が設置され、閉会中の継続審査となりました。</p> <p>▽委員長…山田人志   ▽副委員長…加藤和幸</p> <p>▽委員…野矢、山本、高橋、堀江、後藤、奥平、谷、中西、齋藤、西澤、池元</p>														
平成30年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算															
平成30年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算															
平成30年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算															
平成30年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算															
平成30年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算															
平成30年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算															
平成30年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算															
平成30年度日野町水道事業会計決算															

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	堀江	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
決算特別委員会の設置	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算特別委員会の委員の選任	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 一般会計補正予算の概要

消費税引き上げに伴う幼児教育・保育の無償化等に関する事業や行政懇談会での要望等における道路等の生活基盤の維持補修や各種補助金、小中学校の学習環境を充実させるための整備事業について予算措置を講じました。

## 補正予算

会計名	補正額（円）	補正後の予算総額（円）
一般会計	94,618,000	9,249,125,000
特別会計	国民健康保険	2,122,307,000
	公共下水道事業	930,937,000
	介護保険	2,178,606,000

## 主な事業

- 旧日野消防署跡地の舗装 1,000万円
- 認可外保育施設等の保護者負担金に係る無償化分への対応 222万円
- 日野東部地区広域農道の舗装修繕等 500万円
- 道路維持補修（小御門十禅師線小佐小学校の水路防護柵設置等）1,000万円
- 小学校26台・中学校2台の教育用プロジェクター整備等 2,360万円
- わたむきホール虹の防火戸修繕3箇所・照明LED化 1,153万円



旧日野消防署跡地の駐車場

# 提出された議案と結果

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	堀江	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
<b>人 事</b>															
人権擁護委員（候補者の推薦） 北川重一氏（佐久良）	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町監査委員（選任） 東 源一郎氏（三十坪）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町公平委員会委員（選任） 西川博明氏（大窪）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町教育委員（任命） 吉澤正義氏（鎌掛）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町西山財産区管理会財産区管理委員（選任） 望月常司氏（内池）、徳田正之氏（内池）、井澤善雄氏（猫田）、藤崎清三氏（別所）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>一部事務組合の協議</b>															
滋賀県市町村交通災害共済組合規約の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
滋賀県市町村交通災害共済組合の解散	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
滋賀県市町村交通災害共済組合の解散に伴う財産処分 滋賀県市町村交通災害共済組合が令和2年3月31日をもって解散されることについて、および解散に伴う規約の変更、財産処分等について関係地方公共団体に協議されたもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>条例の制定・一部改正</b>															
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の制定に伴う関係条例の整理に関する条例（制定） 関係法律の制定公布に伴い、関係条例の成年被後見人・被保佐人に係る欠格条項および権利制限の見直し等所要の整理を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町附属機関設置条例（一部改正） 日野町の附属機関として「日野町学校・子どもいじめ問題対策委員会」および「日野町いじめ問題調査委員会」を設置。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町印鑑条例（一部改正） 女性活躍推進の観点から、印鑑登録に旧氏が用いられるように「印鑑登録証明事務処理要領」の一部改正が行われたことを踏まえて改正。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町税条例（一部改正） 関係法令の制定公布により、個人町民税の単身児童扶養者に対する非課税措置に係る規定の追加および軽自動車税の環境性能割の税率の臨時的軽減、種別割の特例措置の延長など規定を整備。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（一部改正） 関係省令の制定公布に伴い、食事の提供に要する費用の取扱い等、特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町上水道給水条例および日野町簡易水道給水条例（一部改正） 関係政令の制定公布に伴い、給水装置の構造および材質の基準の定義に係る引用条文の位置が変更されることに伴い、引用箇所を改めるもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

# の 報 告

## ◎常任委員会

- ◆総務常任委員会…財政、消防、教育、文化などの事務に関する調査。議案、請願などを審議。
- ◆産業建設常任委員会…産業、経済、観光および建設に属する事務に関する調査。議案、請願などを審議。
- ◆厚生常任委員会…社会、厚生、労働および水道に属する事務に関する調査。議案、請願などを審議。



### 9/18 総務常任委員会

委員長 中西 佳子

本委員会への付託案件は7件でありました。日野町附属機関設置条例の一部改正について、多くの質疑があり、学校では、現在、いじめという声があれば教職員でチーム会議の体制がとられている。今回、学校の対応が客観的であるか、第三者が判断、調査機関として設置するものであるとの答弁がありました。ほか6議案についても審査を行い、すべて全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しました。

### 9/18 産業建設常任委員会

委員長 山田 人志

今回の当委員会への付託案件は、町道横町線で工事が進められている雨水排水整備の補正予算でした。国の補助金増額に伴う5千万円の増額補正です

が、あらためて雨水幹線整備の全体像を確認したところ、現時点では、総事業費が20億円程度で完了までの期間は15年ということでした。

付託案件が1件だけでしたので、日野駅舎「なないろ」、観光交流拠点「みかく」、農産物加工施設に関する調査研究を行い、それぞれの施設の運営状況や課題などを確認したうえで意見交換をしました。

### 9/17 厚生常任委員会

委員長 齋藤 光弘

幼児教育無償化に伴う幼稚園・保育園の給食材料費の取扱いに関する条例改正については、総務常任委員会とも関連することから連合審査会で審査を行い、他「国民健康保険」「介護保険」の特別会計補正予算等の3件の審査を行いました。共に前年度交付された給付費交付金を貰いすぎたことに

よる精算に伴う償還金を増額補正するものであります。4件の付託案件に対して、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しました。

### 9/17 予算特別委員会

委員長 中西 佳子

今回提案された一般会計補正予算は、行政懇談会要望等における道路等の維持補修、公共施設の維持管理経費、小・中学校の学習環境の整備事業等でありました。「つどいのひろば」けっと」の利用者等の利便性のため旧消防署跡地の舗装について、多くの質疑がありました。交通安全確保や道路維持補修事業の要望に対しての実施状況等、又、学校職員のパソコンの更新計画等の審査を行い、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しました。



# 委員会

## ◎特別委員会

- ◆予算特別委員会…主に一般会計予算を審査。予算編成方針等について調査などを行う。
  - ◆総合計画特別委員会…第6次日野町総合計画の策定にあたり、提案、審議、調査などを行う。
  - ◆地方創生特別委員会…主に町の活性化や町民が豊かに暮らせるよう、提案や意見交換、調査などを行う。
  - ◆議会改革特別委員会…主に、町民の声を活かし、開かれた議会にしていくための提案や意見交換を通じて、より町民の身近な存在としての議会活動の研究を行う。
- ◎他に議会運営委員会、議会広報特別委員会を設置。9月の決算審査時には決算特別委員会を設置。

### 9/19 総合計画特別委員会

委員長 山田 人志

次期の総合計画について、計画の構成と策定の体制に対する議会からの提言内容をまとめました。

計画の構成に関して「現状把握・分析に重きを置くこと」を提言し、策定の体制については、次期の総合計画懇話会メンバーで「学識経験者は議会代表とは別に複数名を委嘱すること」および「団体代表は団体の長に限らず適任者を推薦してもらおうこと」を提言することで委員全員の意見が一致しました。

なお、議会代表をどうするかについては、10月中旬までに議員全員で協議することになりました。

### 9/19 地方創生特別委員会

委員長 池元 法子

日野町9月議会の地方創生特別委員会は、(1)日野町における幹線道路(2)西大路地区定住宅地整備事業(3)日野町における企業誘致(4)日野町に国の地方創生交付金を受けた施設等の現状と今後の取り組み課題について、それぞれ担当課より説明を受けたあと、質問や意見交換を行いました。

その後、前委員会同様に、人口減少、若者が安心して住み続けられる町づくりについて意見交換を行い、次の委員会からは、今年の10月中旬頃に検証結果が出る総合戦略について、これまで積み上げてきたことを踏まえ、新しいアイデアを取り入れて次の総合戦略に活かすために意見を出し合うことといたしました。

### 9/11 議会改革特別委員会

委員長 堀江 和博

当委員会は、議会・議員のあり方や活動などを今一度見つめ直し、「住民の皆さんに信頼される議会づくり」を目指して、議会の改革・活性化をおこなう委員会です。

9月11日に行われた委員会では、平成30年度決算特別委員会の全員参加や議会情報公開事項の拡大、議会報告会を刷新することを決定したほか、本会議議事録の公開時間を早めること、災害時の議員行動規定を定めること、議会タブレット導入検討、住民意見を吸い上げる仕組みづくり、通年議会の導入検討などについて議論を交わしました。引き続き、皆さんに信頼される議会を目指し、議員一同、改革に取り組んで参ります。

# 秋 まちの話題

## 町内の学校などで運動会開催

9月13日の日野中学校体育祭を皮切りに、町内の小学校、幼稚園、こども園、保育園などで運動会が開催され、子どもたちの元気な声と、保護者の皆さんの声援が秋空にこだましました。



日野中学校体育祭の開会式



桜谷こども園の運動会

## 会津まつり2019

9月21日～23日、蒲生氏郷公ゆかりの地である福島県会津若松市にて「会津まつり2019」が開催されました。日野町からも藤澤町長、日野祭曳山囃子方交流会、日野観光協会を中心に30名以上の方が参加され、議会からも杉浦議長以下6人の議員が参加しました。東日本大震災での支援活動にて日野町から赴き、お風呂やシャワーを提供された中村幸太郎さん（日野観光協会会長）が取り持たれたご縁で、それ以降、日野祭囃子隊や蒲生氏郷公隊として藩公行列にも参加し続けています。

## 日野町商工会役員と 日野町議会議員との懇談会



懇談会の様子

9月29日、日野町商工会役員と議員との初めての懇談会が開催され、商工会から松井会長以下11名、議会からは杉浦議長以下13名の議員が参加しました。懇談会では商店街の活性化や人口減少問題、商工業振興や近江鉄道存続問題などについて活発な意見交換が行われました。



藩公行列の先頭は日野祭曳山囃子方交流会の皆さん。写真右上、左から2番目が日野観光協会の中村幸太郎会長。トラック上で朝から夕方まで演奏。



白馬に跨り蒲生氏郷公に扮するのは谷成隆副議長。中西、山田、後藤、山本の5人の有志議員も隊士装束で行列に加わりました。



## “議会改革”ってなに？

議会改革（ぎかいいかく）とは、住民の皆さんの声を行政に生かせるように「議会の構造や考えを変えていく取り組み」をいいます。4月に当選した議員が一丸となり、「議会改革特別委員会（委員長：堀江和博）」を新しく設置し取り組んでいます。

## 改革の種類は3つ！

### 1. 情報公開（議会の透明性を確保する）

（実施済み）

本会議議事録公開、インターネット配信、議会広報誌の発行、議員賛否結果の公開など

（実施予定・検討）

視察報告の公開、議長交際費の公開、議員派遣の公開など



### 2. 住民参加（住民参加を進める）

（実施済み）

議会報告会の実施、各団体との懇談会、小学生との懇談会など

（実施予定・検討）

議会報告会回数・会場数の増加、報告会の内容改善など

### 3. 機能強化（議会の能力を引き出す）

（実施済み）

議会基本条例の制定、一問一答権の導入、決算特別委員会の全員参加など

（実施予定・検討）

災害時行動規定の策定、議会タブレット化、通年議会の導入など





\*「議会だより」に関するご意見募集中心！書式は問いません。郵送・e-mailまたは議会事務局までご持参願います。

## ～まちのことを一緒に考えませんか？～ 『住民の皆さんとの意見交換会』 開催のお知らせ

11月30日（土曜日）、次の2会場において、住民の皆さんと議員との懇談の場を計画しました。

テーマ	会場	時間
「子育て・教育」	日野公民館	19時30分開会

テーマ	会場	時間
「地域農業」	中之郷会議所	19時30分開会

\*それぞれのテーマについて、議員に伝えたい、議員と話がしたいと思っただいた方は、ぜひお越しください。議員一同、お待ちしております。

## 大津市議会を視察研修



(7月23日)

議会改革特別委員会は、議会改革の取り組みについて、先進地である大津市議会での研修を行いました。

## 議長コラム



議長 杉浦 和人

### 住民ファーストの 行政サービスを

新しい視点で町長を質す議員、将来を案じて財政を質す議員、進出企業が要望されている道路整備を質す議員など議長を除く13議員が登壇され、様々な角度から見識の高い質問も多くありました。しかし、質問の趣旨を十分理解されていない答弁者も見受けられ、今議会も上手く噛み合った論戦には至りませんでした。

一方、極簡単な事項を質す議員もあり、閉会日の議会運営委員会で委員長から議員及び答弁者双方が資質向上に努めるべきと提議がありました。こうした事を受け、議会改革特別委員会で協議をしていただく様お願い致しました。

7月4日東桜谷地区を皮切りに全町で行政懇談会が実施され、各字から数多くの要望案件が提出されました。町は「緊急性の高い箇所から」として、1千万円の補正予算を計上しました。

一方、旧消防跡地については、一部に「つどいのひろば ぽけっと」の駐車場が含まれているものの職員・公用車駐車場の舗装工事に1千万円を計上されている点について、住民要望には約30%の対応で職員用等の駐車場には即対応された事について議員からも指摘がありました。住民ファーストの行政サービスを忘れてはなりません。議会も監視機能の強化に務めて参ります。

## 編集後記

今回の議会だよりはいかがでしたか？全ての情報を掲載することはできませんが、みなさまの知りたいこと、知っておかなくてはいけないことは掲載されていきましたでしょうか？

議会広報特別委員会の調査研究と、みなさまのご協力で、議会だよりはより役に立つ情報誌になっていきます。身近な議員や議会事務局まで、ご意見ご感想をお伝えくださいますと幸いです。

(野矢貴之)

### 議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 堀江 和博 |
| 副委員長 | 後藤 勇樹 |
| 委員   | 齋藤 光弘 |
| 委員   | 加藤 和幸 |
| 委員   | 高橋源三郎 |
| 委員   | 山本 秀喜 |
| 委員   | 野矢 貴之 |